

国の重要伝統的建造物群保存地区になりました

養父市大屋町大杉地区

見に来んせえ、うちげえのアートの大杉へ



重伝建地区の選定

平成29年7月、養父市大屋町大杉の約5.8haが国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）に選定されました。三階建や二階建の養蚕住宅群が建ち並ぶ大杉の景観はふるさとの誇りであり、日本を代表する養蚕集落となっています。

現在、全国に117地区の重伝建地区があります。兵庫県では神戸市北野町、篠山市河原町・福住、豊岡市出石、養父市大杉の5地区です。大杉は西日本初の養蚕集落です。養父市の三階建養蚕住宅は、全国に誇りうる素晴らしい建築です。

うちげえのアートおおや

うちげえのアートおおやは、今年で24回目です。美術・染織・書道・木彫・木工などのアート作品を展示し、参加者がその場で購入できることが魅力です。会場では書家に好きな言葉を書いてもらえるコーナーもあります。会場は大杉地区の4会場です。大杉の木彫展示館、藏垣の大屋かいこの里、加保のBIG LABO（ビッグラボ）等とあわせてご見学ください。

三階建の養蚕住宅

三階建養蚕住宅は養父市を代表する伝統的な民家建築であり、現在も養父市には400棟以上の数が現存しています。しかし全国的には三階建養蚕住宅は珍しい建築です。

養父市は農業・養蚕業・製糸業・鉱山業によって明治・大正・昭和を通じて発展しました。

大杉には貴重な昭和の養蚕集落の姿が現在も受け継がれています。

大杉地区の特徴

養父市大屋町大杉伝統的建造物群保存地区は、但馬地域屈指の養蚕地帯であった大屋川流域の山村集落です。当地の養蚕が最盛期を迎えた明治後期から昭和前期に二階、三階を蚕室とする木造三階建の農家主屋が成立しました。

切妻造平入の瓦葺の屋根に越屋根を設け、外壁は二階以上を大壁造として、縦長の掃き出し窓を並べます。養蚕を発展させるために成立した木造三階建の特色ある農家主屋が、谷川の水を活かした集落の構成や水路、石垣等とともに地方色豊かな歴史的風致を伝えています。

